

# プリズム

第22号

- 三重県いなば園  
発行責任者 園長 米倉 恵里  
〒514-1252  
津市稲葉町 3989 番地
- 電話 (059)-252-1780
- ファックス (059)-252-1374
- ホームページアドレス  
<http://www.mie-reha.jp/inabaen>
- 発行年月日 令和元年 6月

## ごあいさつ

三重県いなば園 園長

米倉 恵里



いなば園の初夏は、私が一年中で一番好きな景色です。施設全体が若草色に染まり、今年は特に「令和」という新しい時代が始まったことを知らせてくれているようにも感じます。

プリズムでは、今年度から医療的なケアの必要なお子様方にも利用していただけるようになりました。いろんな困難を抱えながらも精一杯生きてみえるお子様とそのご家族に寄り添っていけるよう、職員一丸となって全力で支援させていただきたいと考えています。

このサポートの一つとして看護師が支援に加わりました。健康上の不安や困りごとの相談や療育支援内容の質の向上等、看護師の専門性を生かした取り組みが加わり更にバージョンアップすることを目指しています。

「プリズムに是非通いたい。通えてよかった。」と書いていただける事業所をめざし、今年度も職員一同、努力を重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





自分が誇りに思う子に育てたい

言語聴覚士

小島 玉子



新学期。『年長になりましたか?』と尋ねると、「はい!!」と大きな声が返ってきます。

その、なんと誇らしげな顔。

目はキラキラと輝き、「はい」とは言えなくとも、大きくうなづく子もいます。

大きくなったという自信と、これから出会う様々なことへの期待に満ち溢れています。この、自分への自信・期待を持ち、明日を楽しみにできる子(人)に育てたいし、周りの人もそうであってほしいと願います。

子どもは、一人ひとり、個性を持って生まれてきます。受精の時から、その子の人生は始まっているといっても過言ではありません。命は、様々な苦難を乗り越え、工夫を凝らして、母の胎盤に根を張り、大きく育ち、大きな期待と共に母や、命の誕生を待ち受ける人々の助けを借りながらも、自分の持てる力を振り絞って下界に出てきました。これだけでも、すごいことです。

この大きな試練に打ち勝って、これからの人生を切り拓いていきます。私たち周りには応援団です。子の前向きに生きようとする力を信じ、励まし、『あなたはいい子だ。大好きだ。』というメッセージを送り続けたい。

一人ひとりを比べるのではなく、一人ひとりの値打ちを大切にして、自分らしく、誇りを持って生きる姿を見てみたい。楽しみです。



# 5月



春を探しに散歩に行きました。



# 本年度のスタッフ紹介



のむら ゆうこ  
(総括責任者)



もりた ひろと  
(児童発達管理責任者)



こじま たまこ  
(言語聴覚士)



ただ ももえ



にわ ともこ



ほりぐち ひろみ  
(看護師)

## 7月の予定

2日(火)	言語指導・教育相談
15日(月)	海の日(開所日)
25日(木)	防災訓練(バケツリレー)
22日(月)~26日(金)	運動あそび

## お知らせ

保護者様より、おもちゃや衣服の寄付をいただきました。おかげ様で沢山集まりました。頂いたものは、大切に使用させていただいております。皆さんの温かいご協力をありがとうございました。教育相談のご予約承っております。小島先生に今現在の悩み事や将来のことでお話をされたい方はお気軽にスタッフにお申し付けください。

### 編集後記

うっすらと汗ばむ季節、初夏の足音が聞こえてくるような季節となりました。新学期を迎え、早いところでは運動会の行事も実施されている中で、お子様の成長をたくさん垣間見ることのできる時期なのではないでしょうか。本年度もプリズムを温かく見守っていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

プリズム編集責任者 堀口宏美